

<ニコニコ委員会：吉田俊一委員>

■齋藤和實 会員

11月25日、消防団120年、自治体消防65周年記念大会が、東京ドームで天皇、皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国の消防団員、消防関係者3万7千人が一同に会して盛大に行われました。その席で表彰の栄に浴しました。



■高橋 進 会員

昨日、臨時収入がありましたので、ニコニコします。

■鈴木悦朗 会員

お誕生祝いの品、ありがとうございます。そういった誕生月の強運もあって、ゴルフコンペも3連覇させて頂きました。まだまだ若輩者ですが、今後共よろしくお願ひ致します

■正司 進 会員

誕生日のお祝い、ありがとうございました。

会 員 誕 生 日

鈴木悦朗会員 12月12日

正司 進会員 12月3日



本日、例会終了後にクラブ総会が開催され、出席全会員により次年度の役員および理事の選挙が行われました。理事及び会員に事前に配布された松戸北ロータリークラブ細則第3条第1節に基づく指名に対して、出席会員全員の賛成がございましたので以下の通りに当選したものと宣言されました。

2014～2015年度 役員・理事

■役員 (7名)

会 長	崎谷延好
直前会長	児山守治
会長エレクト	小澤盛明
副 会 長	森谷充伯
幹 事	大川隆永
会 計	齋藤國春
会場監督	寺川忠男

■理事 (12名)

崎谷延好	(会長)
児山守治	(職業奉仕委員長)
小澤盛明	(会長エレクト)
森谷充伯	(クラブ奉仕委員長)
大川隆永	(幹事)
齋藤國春	(会計)
寺川忠男	(会場監督)
平田洋一	(社会奉仕委員長)
小菅正彦	(国際奉仕委員長)
石井新一	(青少年奉仕委員長)
高橋一彦	
高崎卓哉	

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1993回 例会 2013年12月10日(火)

- | | | | |
|----------------|-----------|-----------|---------------------------------------|
| ■国際ロータリー会長 | ロンD. パートン | ■例会日 | 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 関口 徳雄 | ■例会場 | 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」 |
| ■第12分区ガバナー補佐 | 渡辺 敏弘 | ■事務所 | 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 児山 守治 | ■TEL/FAX | 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 平田 洋一 | ■Web/Mail | www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

<第1992回：例会プログラム>



12:30	点鐘	児山守治会長
	国歌並びにロータリーソング斉唱	
	【♪我等の生業】	
12:35	会食	
13:00	例会再開	児山守治会長
	会長挨拶・報告	平田洋一幹事
	幹事報告	
13:15	【委員会報告】	
	■社会奉仕委員会	高崎卓哉委員長
	本日の社会奉仕基金発表	
	■ニコニコ委員会	小林弘委員長
	本日のニコニコ発表	
13:30	点鐘	児山守治会長
13:30	～クラブ総会	



<会長挨拶：児山守治会長>

皆さん こんにちは。

このごろ空気が乾燥しています。火の元には充分注意しましょう。
今日は久々に持ち時間がありますから米山梅吉の歴史を紐解いてみたいと思います。



梅吉は沼津中学校を中途退学し勉強の為上京。その頃汽車の開通はなく三島から東京へは徒歩でした。男の足で3日かかりました。朝早く出発すれば日のあるうちに箱根の山を越えて夕方に湯本か小田原に着くことができました。次の日は藤沢泊まりでその翌日の夕暮れに梅吉は東京に着きました。

明治16年12月13日に東京に着いた梅吉が最初に身を寄せたのは銀座2丁目にあった江南学校という学舎でした。東京に知人は誰もいませんでしたが、ただ一人長兄栄次郎の妻の兄にあたる望月功が神田に下宿して、共済学舎に通学していたので梅吉は、義兄の望月功を訪ねて、江南学校に入学するための保証人を頼んだ。家族の誰にも相談しないで家出した梅吉が突然現れたのだから、望月は驚いたが、「自分も勉強している身だから梅吉の気持ちはよくわかる」と保証人になることは了承してくれました。

しかし「お母さんも兄さんも心配しているだろう」と長兄の栄次郎のところへ梅吉の上京を手紙で連絡しました。

2、3日すると望月から呼び出しの葉書がきたので行ってみると「兄の栄次郎が梅吉を連れ戻す為上京する」という手紙が来ているということでした。梅吉は驚いて「どうかそのような事がないように望月さんから兄に頼んでください」と梅吉は必死になってお願いしました。望月も梅吉の気持ちは痛いほどわかった。「梅吉の家出はただの家出ではない。だからしばらく穏便に扱ってやった方が良く」と説得することを約束してくれた。一方長泉村の米山家では梅吉が学校に行ったきり帰って来ないのでどうしたのかと大騒ぎになっていた。梅吉が無断で家出するまでには養父の米山藤三郎と梅吉の間で「沼津中学校を卒業したらもう一段上の学校に進みたい。そのために東京に出たい。」という梅吉の将来についてかなり意見のやりとりがあったものと想定される。



■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

それなのに梅吉の意見が全く聞き入れられないので、家出という行動に出たのであるから、米山家でもある程度の見当はついていただろう。ただもっと勉強をしたいと言っているだけである。しばらくは本人の希望に沿い、様子を見ることにしようという結論に米山家も和田家も達したのでした。

この様に大騒動をおこして入学した江南学校も期待に反し梅吉にとっては希望する学問が学べない学校であった。梅吉は家出をしてきたのだから金がない。生活費を稼ぐ為学僕の手伝いをしているのであるが、それでは勉強する時間が足りない。何とかしなくてはならないと思った梅吉は親友の稲村に「早くここを抜け出して次の学校を探すつもりである」という手紙を出している。

梅吉が江南学校の次に選んだのは芝にある土居光華塾であった。これは土居光華（1847～1918）が開いている塾で 明治17年17歳のとき懇願してここへ書生として置いて貰ったのでした。

土居光華は明治維新のとき岩倉具視のもとで働き、当時有名な漢学者で、後に民権家衆議院議員となった人間であった。

梅吉は沼津中学校にいたころ土居光華の論説を読んだ事や政談演説を聞いたこともあった。そんなことから梅吉は紹介者もなく、かなり強行に頼み込んで書生として置いてもらったのでした。しかし土居光華は漢学者である。梅吉が勉強したいのは、漢学ではなくもっと新しい学問、洋学だった。大学予備門にあこがれる梅吉は土居光華塾では飽きたらなれないものを感じ始めていた。

この続きは後日といたします。これにて 挨拶といたします。

<幹事報告：平田洋一幹事>

◆松戸中央ロータリークラブ

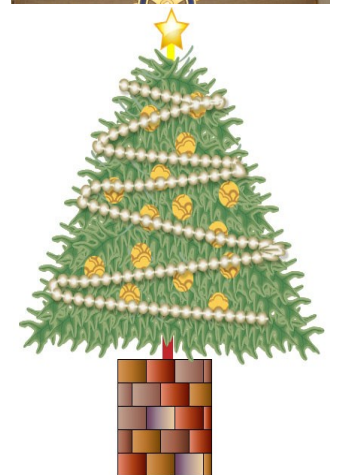
平成25年12月19日(木)・・・クリスマス家族例会に変更
(聖徳大学10号館にて18:00点鐘)
平成25年12月26日(木)・・・定款第6条第1節により休会
平成26年 1月 2日(木)・・・定款第6条第1節により休会

◆我孫子ロータリークラブ

平成25年12月31日(火)・・・休会
平成26年 1月 7日(火)・・・新年例会のため夜間例会へ変更

◆鎌ヶ谷ロータリークラブ

平成25年12月19日(木)・・・クリスマス親睦家族例会に変更
(浅草ビューホテルにて18:00点鐘)
平成25年12月26日(木)・・・定款第6条第1節により休会
平成26年 1月 2日(木)・・・定款第6条第1節により休会
平成26年 1月 9日(木)・・・新年夜間例会へ変更
(三角屋にて18:00点鐘)



■奉仕の理想 (Ideal of Service) ■

己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学である。